

神川考松 かみかわ かつら 國際政治學者、法學博士。明治二十一年十一月十二日三重縣生れ、昭和六十三年四月五日没（八八九—一九六八）。舊姓梨山。號任道。大正四年東京帝國大學法科大學政治學科卒。のち同大教授となり國際政治學を専攻、その分野の開拓者として知られる。また外務省囑託として戦前日本の外交政策に關與。昭和二十八年日本學士院賞受賞、二十年内主憲法期成同盟理事長、四十五年安全保障國民會議代表議長。

著書に『世界外交の大勢と我國の地位』（大正十二年十月十四日教化團體聯合會「教化資料」）、『國際聯盟政策論』（昭和二年八月二十日政治教育協會「政治ライブラリー」）、『世界大戦原因論』（昭和十五年二月十五日岩波書店「政治學叢書」）、『國際條約集』（横

田壽二郎共編、昭和十六年七月十五日岩波書店）、『米國參戰問題』（昭和十六年十月十七日朝日新聞社）、『米國の世東戰略』（合著、大東亞戰爭調査會編、昭和十九年五月二十日毎日新聞社）、『國際政治學概論』（昭和二十五年二月十日勁草書房「勁草全書」）、『憲法改正是非か』（合著、毎日新聞社論說空欄、昭和二十一年四月二十日毎日新聞社）、『日本外交の再出発—祖國の自由と独立のため』（昭和二十五年一月二十日鹿島研究所）等。

